

ICT を活用した支援の 最前線



スマートフォンやタブレットなどのICT機器は、知っている人だけが使える特別なモノから、私たちの生活により身近なモノとなってきました。

発達障害分野においても例外ではなく、様々な現場でICT機器が活用されつつあります。

しかし、

—興味はあるけれど、どんな活用方法があるの？

—タブレットってどんなことができるの？イメージがつかない などの声を聞くこともあります。

そこで、今回は、テクノロジーを活用した障害者の支援について、先駆的研究・取り組みをされおり、その活動が多くメディアでも取り上げられている、東京大学先端科学技術研究センターの中邑賢龍先生をお招きして、最先端の支援についてご講演いただきます。

1日を通して、中邑先生のお話を伺えるのは大変貴重な機会です。

多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

講師のご紹介



中邑賢龍先生（東京大学先端科学技術研究センター/教授）
広島大学大学院教育学研究科博士課程後期単位修得退学。
1984年4月香川大学教育学部助手を経て、1986年10月香川大学教育学部助教授。
1992年3月～12月、カンザス大学・ウィスコンシン大学客員研究員。
1996年3月～10月ダンディ大学客員研究員。
2005年4月、東京大学先端科学技術研究センター特任教授。
2008年4月より、東京大学先端科学技術研究センター教授。
人間支援工学を専門とし、テクノロジーの活用による発達障害支援のパイオニア的存在である。障害あるいは病気による困難を抱えつつも、大学進学を目指している高校生、高校卒業生の進学や就労を支援する「DO-IT Japan」、異才を発掘し、継続的なサポートを提供することで、将来の日本をリードしイノベーションをもたらす人材を養成することを目指し、2014年12月に「異才発掘プロジェクト ROCKET（Room Of Children with Kokorozashi and Extraordinary Talents）」を立ち上げ、活動をされている。

主な出版物：

中邑賢龍 2015 学校の中のハイブリッドキッズたち—魔法のプロジェクトを通して見えたICTと子どもの能力・教育の未来— atalab
中邑賢龍 2014 AAC入門—コミュニケーションに困難を抱える人とのコミュニケーションの技法— atalab
中邑賢龍・近藤武夫（共著）2013 タブレットPC・スマホ時代の子どもの教育 明治図書
中邑賢龍・福島智（編著）2012 バリアフリー・コンフリクト 東京大学出版会
中邑賢龍・近藤武夫（監修）2012 発達障害のある子を育てる本 ケータイ・パソコン活用編 講談社
中邑賢龍 2007 発達障害の子どもの「ユニークさ」を伸ばすテクノロジー 中央法規出版

日程

2018年9月29日（土）10：00～16：00 受付開始は9：40～

受講料

受講料：10,800円（税込）
❖ 賛助会員の方は8,800円（税込み）になりますので、お申し込み時にお知らせください。

定員・参加資格

定員：32名（先着順）
自閉症スペクトラムの教育や支援に携わっている専門家や、保護者の方など、どなたでもご参加いただけます。

開催場所

一般社団法人発達精神医学・心理学研究会 セミナールーム
横浜市都筑区茅ヶ崎中央24-3太光クリニックビル6F
（横浜市営地下鉄センター南駅より徒歩5分）

お申し込み方法



HP（www.ydc-r.com）の「セミナー」→「一般公開講座」または、左記QRコードよりお申し込みをお願い致します。

❖ お申し込み・キャンセルに関する詳細は、ホームページにてご確認ください。

お問い合わせ

一般社団法人発達精神医学・心理学研究会 セミナールーム
E-Mail：seminar@ypdc.net Tel：045-942-1160
〒224-0032 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央24-3太光ビル6F
❖ 本セミナーについてのご質問は、できるだけメールにてお問合せ下さい。
❖ セミナー当日は、07066521510へとお掛け下さい。